

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

★ 安全リレー ★



富山県における安全・適正就業の取組み

1. 富山県シルバー人材センター連合会の概要（平成30年度実績）

- ・拠点センター数 15センター
- ・会員数（人） 7,289人（男性4,515人、女性2,774人）
- ・粗入会率（%） 1.8%（男性2.6%、女性1.2%）
- ・就業率（%） 85.6%（請負・委任）、72.5%（派遣）
- ・就業延人員（人日） 794,328人日（請負・委任721,290人日、派遣73,038人日）
- ・受注件数（件） 75,337件（請負・委任74,762件、派遣575件）
- ・契約金額（百万円） 3,802百万円（請負・委任3,398百万円、派遣404百万円）
- ・平均年齢（歳） 73.4歳（男性73.5歳、女性73.2歳）

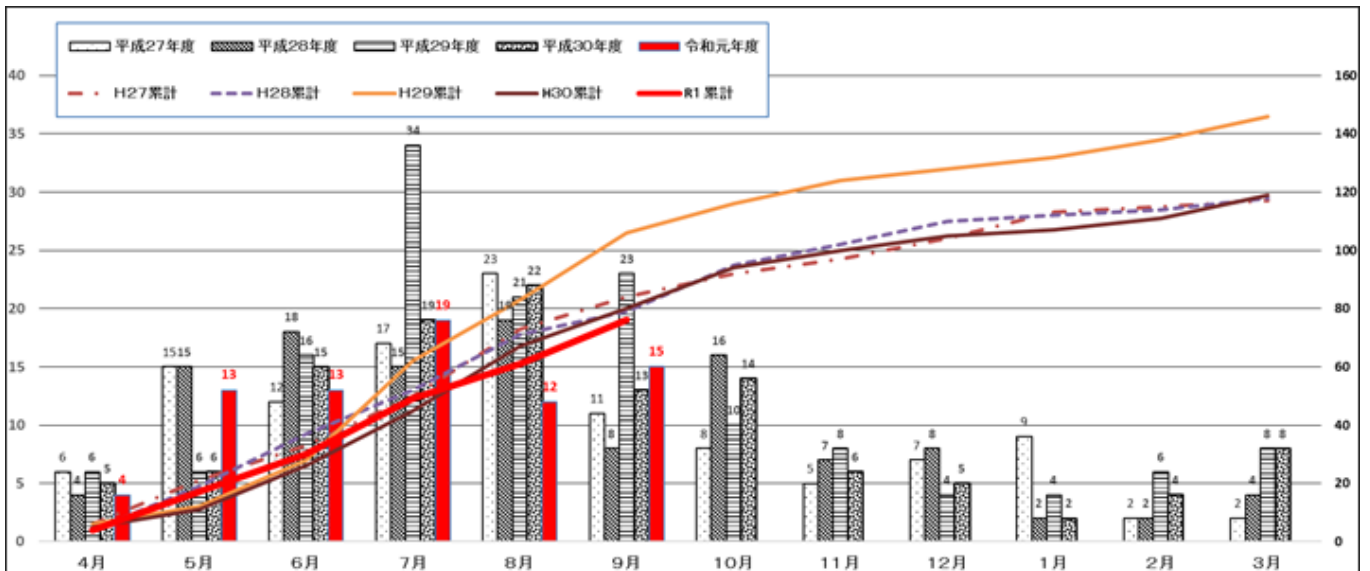
2. 直近5年間の事故発生状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	H30/ 4～9月	R1/ 4～9月
傷害事故	57	66	72	68	40	42
賠償事故	60	52	74	51	40	34
合計	117	118	146	119	80	76

（事故報告基準）

傷害事故：医療機関で受診した全ての事故

賠償事故：損害を与え費用の発生した全ての事故



(1) 作業別・要因別事故集計

(平成30年度4～9月)

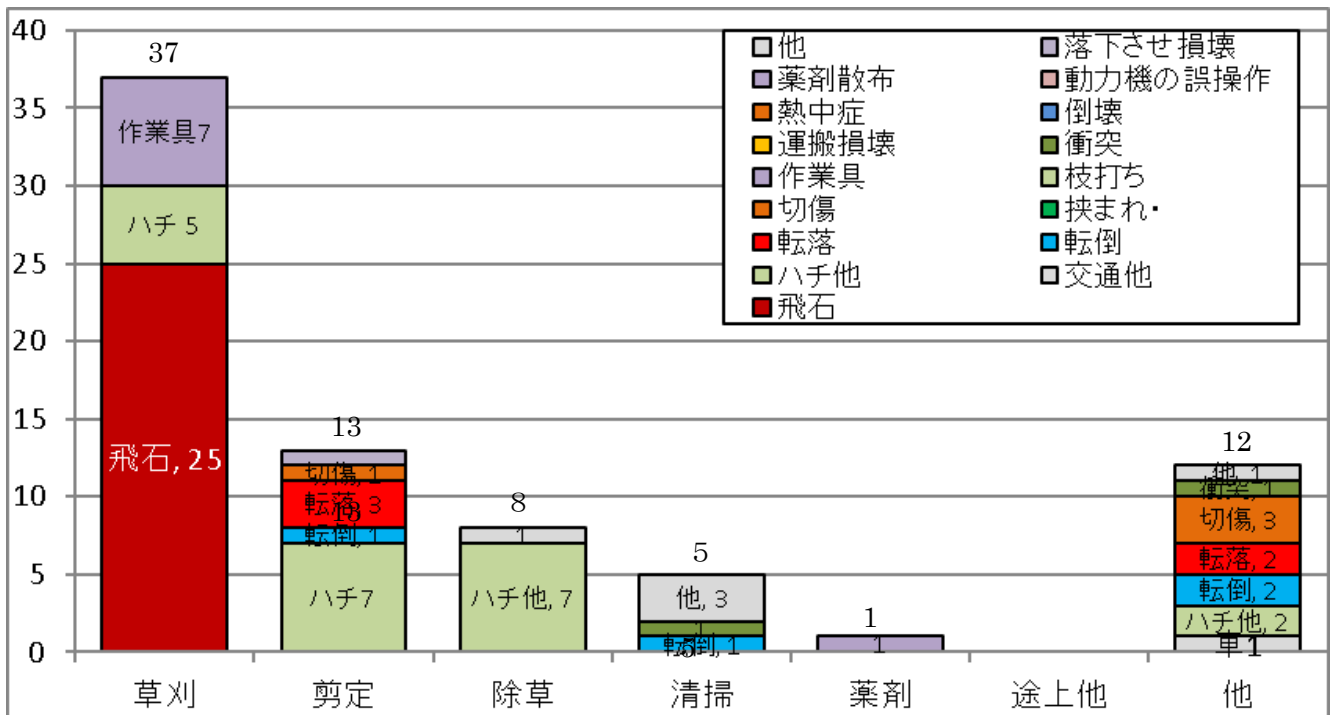
要因	作業	草刈	剪定	除草	清掃	薬剤	塗上他	他	計
飛石		29							29
交通他		2					3		5
ハチ他		5	3	2	1	1			12
転倒					2			1	3
転落			3		1			2	6
挟まれ									0
切傷			3					2	5
枝打ち			3						3
作業具		3	1						4
衝突								3	3
運搬損壊			2						2
倒壊									0
熱中症		1	1	1					3
動力機の誤操作									0
薬剤散布									0
落下させ損壊						1			1
他			1		1			2	4
計		40	17	3	5	2	3	10	80

(令和元年度4～9月)

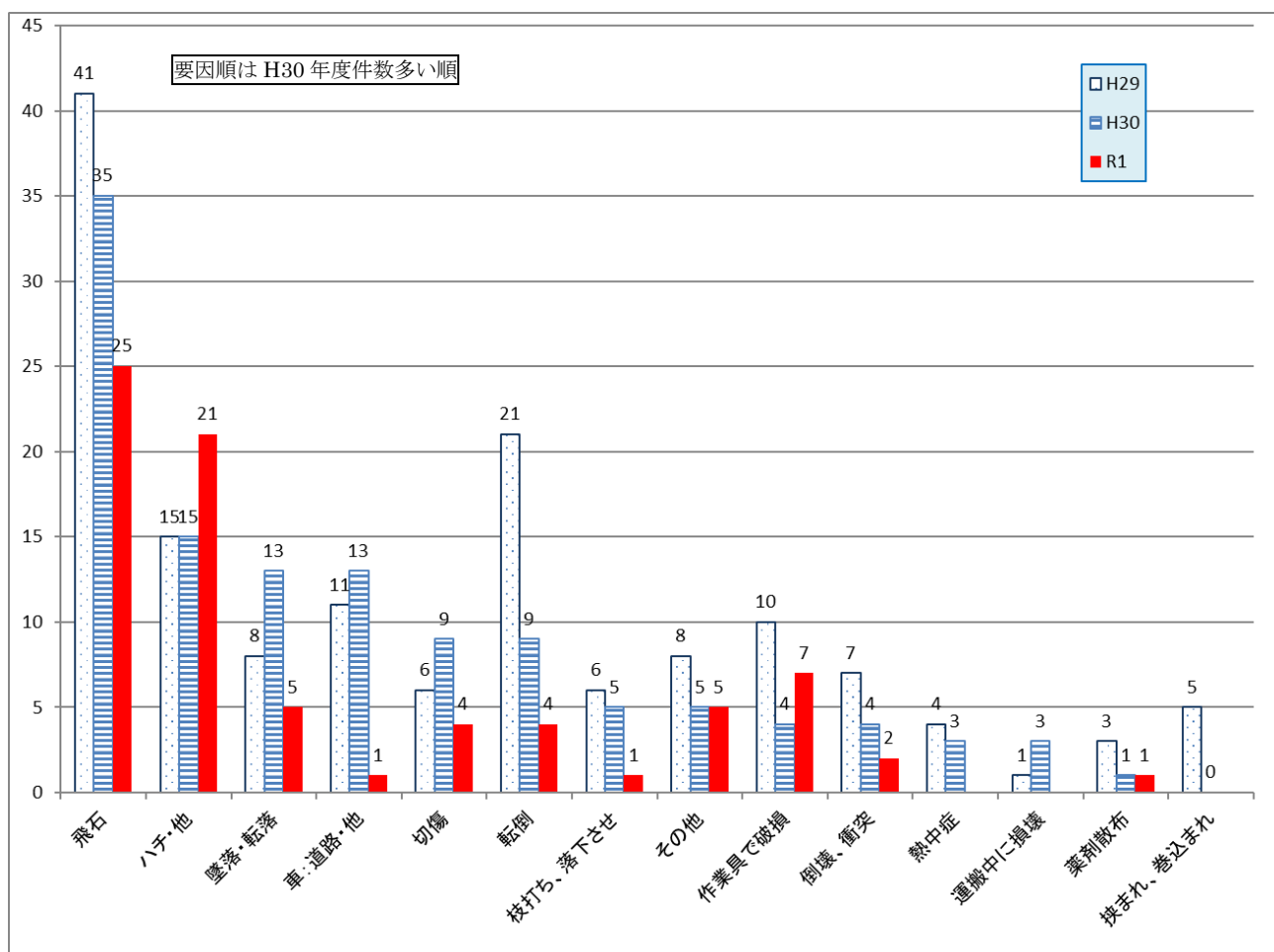
要因	作業	草刈	剪定	除草	清掃	薬剤	塗上他	他	計	差異
飛石		25							25	-4
交通他								1	1	-4
ハチ他		5	7	7				2	21	9
転倒			1		1			2	4	1
転落			3					2	5	-1
挟まれ									0	0
切傷			1					3	4	-1
枝打ち									0	-3
作業具		7							7	3
衝突					1			1	2	-1
運搬損壊									0	-2
倒壊									0	0
熱中症									0	-3
動力機の誤操作									0	0
薬剤散布						1			1	1
落下させ損壊			1						1	0
他				1	3			1	5	1
計		37	13	8	5	1	0	12	76	-4

R1-H30

事故の分析によって事故が減るものではないが、分析によりその時々への会員への注意喚起ができる。平成30年度は、剪定作業に於ける事故件数が異常に多く確認された年であり、令和元年度は、ハチ刺されの事故が多発しているため、それぞれの時点で、注意喚起のリーフレットを発行した。過去の年度との比較により要因別、作業別での判断ができ、上記表は分析の基本として利用している。



令和元年度 (4～9月) 作業別・要因グラフ



平成 29、30 年度（年間）及び令和元年度（4～9 月）要因順位グラフ

さらに、上記グラフは作業別・要因別事故集計をグラフ化したものである。会員の方々に数字だけではなく、目で感じてもらうために作成・配信しており、また、このほかにも事故発生時間別、年齢別、経験年数別の各事故件数のグラフ化を始めて2年となる。少しでも班長を中心として会員の方が気づき、作業前の打合せで取り上げてもらうよう期待されることである。

3. 連合会における安全就業の取組み

(1) 安全・適正就業対策推進委員会

《構成メンバー》

- ・各センターから安全推進員 1 名（富山、高岡のみ 2 名） 計 17 名
 - ・連合会事務局長及び総務・事業課長 計 2 名
 - ・オブザーバー：安全・適正就業対策担当理事 計 2 名
- （合計 21 名）

《開催回数》

年 3 回（4、7、2 月）

《活動内容》

- ・安全・適正就業活動方針の作成
- ・安全・適正就業対策事業実施計画の作成
- ・安全・適正就業パトロール実施計画の作成
- ・重篤、重大事故の調査
- ・安全・適正就業パトロールの実施
- ・安全就業優良センター表彰候補者、及び安全標語の審査
- ・安全就業促進大会, 研修会の開催

《令和元年度安全・適正就業対策実施計画の一部抜粋》

1. 安全目標

「重篤事故ゼロ」及び「傷害事故50件以下、賠償事故45件以下」

2. 目標達成のための取組み

- ①「指差呼称」は、事故防止の基本動作であり、要所で確認
- ②剪定作業での転落事故の防止、保護具の着用
- ③草刈作業での防護ネットの使用
- ④遺跡発掘等の派遣事業での傷害事故を減らす
- ⑤就業中・就業途上の交通事故を減らす
- ⑥安全・適正就業対策推進委員会の活動強化

(2) 安全就業推進大会

毎年7月、安全・適正就業強化月間の一環として開催している。

《令和元年度の概要》

- ・参加人数 69名（県内15センターの会員・安全就業推進員等）
- ・会場 ボルファートとやま 4階
- ・大会次第
 - ・来賓激励の挨拶 富山労働局 職業安定部長
 - ・平成30年度の事故状況報告
 - ・事例発表 「安全就業への取組み」 氷見市シルバー人材センター
 - ・講演 「屋外作業に於ける安全就業」

林材業安全技能師範 北山 武猛 氏



(大会会場)



(講演)

(3) 安全・適正就業パトロール・講習会

パトロールは、連合会会長、事務局長参加の特別パトロール（3センター）と、連合会安全就業指導員の通年に亘るパトロール、講習会がある。

《特別パトロールの概要》

- ◎参加メンバー
 - ・連合会会長、連合会事務局長、業務主事、安全就業指導員
 - ・安全・適正就業対策推進委員会委員長
 - ・各センター理事長、事務局長、安全委員会委員長等

- ◎実施時期
 - ・7月～8月

- ◎内容
 - ・3センター（2ヶ所/センター）の現場パトロール
 - ・パトロールの講評、意見交換



(現場パトロール)



(パトロールの講評、意見交換)

《パトロール、講習会概要》

◎パトロール

- 参加メンバー
 - ・各センター：安全就業委員会メンバー中心に4名前後
(センターによっては、理事長、事務局長参加あり)
 - ・連合会：安全就業指導員

- 実施実績
 - ・本年度上期 14回 (通期23回予定)

◎研修会・講習会

- 参加メンバー
 - ・6名（班長会議等）～150名（総会后等）まちまち
 - ・連合会安全就業指導員

- 内容
 - ・直近の事故状況報告及びセンターからの希望テーマ

- 実施実績
 - ・本年度上期 5回 (通期11回予定)

(4) その他の事故防止活動等

1. 安全・適正就業対策推進研修会の開催

当該年度の問題点を踏まえたテーマの研修会に外部講師を招き、毎年恒例として3月に開催している。

2. 安全への注意喚起

本年度は、繁忙期や事故多発時期の前に会員の安全意識を高めるため、リーフレットの発行を計画している。「転落事故防止」(4月、10月)、「飛石事故防止」(4月)、「熱中症予防」(6月)、「転倒予防」(11月)

3. 安全衛生法改正等に伴う改正内容の周知

「安全帯」、「伐木作業」に係る安衛法の改正が続けて施行されたので、各センターへの教宣・周知を図った。

4. 「派遣による自動車運転業務に係る安全就業基準」の施行

全シ協からの「高齢運転者等に係るガイドライン」をベースに基準を作成し、本年度から施した。

(5) 今後の課題

令和元年度、「重篤事故ゼロ」を最重点目標に掲げながらも、5年連続で重篤事故が発生し、極めて残念な状態となっている。会員への直接の訴えが必要と考え、パトロールや講習会の回数を増やしてきましたが、実効が上がっていない現状に危機感が募るばかりである。個人事業主である多くの会員の方の安全意識を高めるには、事故の発生が会員本人の問題だけではなく、家族、発注者及びセンター関係者を巻き込むことになることを直接訴え続けるとともに、安全・適正就業対策推進委員会で更なる対応を議論し、「重篤事故ゼロ」及び事故件数の減少を目指して活動していく。

富山県シルバー人材センター連合様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

令和元年度10月事故速報

(1) 重篤事故

10月は、3件の重篤事故報告がありました。

10月までの累計で比較してみると、平成30年度の21件と比して令和元年度は14件と7件減少しています。

なお、過去10年間において重篤事故件数が一番少なかった平成28年度(年間28件)の18件と比較しても4件の減少となっていますので、この傾向を続けることにより、今年度の重篤事故件数が過去10年間の最少件数を更新できるよう、安全対策に取り組みましょう。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では平成30年度の13件と比して7件と6件の減少となっており、また就業途上においては、平成30年度の8件と比して7件と1件の減少となっています。

10月報告分までの累計

令和元年度 10月 累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				平成30年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	7(1)	4(0)	3(1)	6(1)	1(0)	就業中	13	12	1	12	1	
就業途上	7(2)	3(2)	4(0)	7(2)	0(0)	就業途上	8	7	1	7	1	
計	14(3)	7(2)	7(1)	13(3)	1(0)	計	21	19	2	19	2	

↳ 対前年度比 66.7% ()は、当月(10月)報告分です。

10月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
12	男 83歳	就業途上 (死亡)	自宅から就業場所に自転車で向かう途中、横断歩道や信号のないT字路を直進していたところ、左折してきた車と衝突し、倒れた拍子に縁石の角に打ち付けて病院に救急搬送されたが後日死亡した。	—	—	自転車
13	男 84歳	就業中 (入院)	無料生活情報誌を自動車で各家に配布中、下り坂道のゆるい左カーブを曲がり切れずに道路から飛び出し、立木に激突し全身を強打し、病院に救急搬送された(脳挫傷、胸部・肩部・臀部等骨折)。入院後6ヶ月が経過した現在も入院中である。	—	—	—
14	男 74歳	就業途上 (死亡)	7:30~10:30までの就業(個人宅の剪定作業)をし、軽四自動車帰宅する途中、左わきの電柱に衝突し、病院に救急搬送されたが死亡した。	—	—	自動車

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

10月は、就業中の事故19件、就業途上の事故21件と、合計30件であり、昨年度同月の31件と比して1件の減少となっています。また、男女別では、男性は5件の増加となっており、女性は6件の減少となっています。

10月までの累計で比較してみると、昨年度の180件と比して、本年度は146件と34件の減少となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は12件の減少となっており、就業途上も22件の減少となっています。男女別では、男性は16件の減少となっており、女性も18件の減少となっています。

令和元年度10月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		10月	累計	10月	累計	10月	累計	10月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	11(6)	41(43)	11(6)	41(42)	0(0)	0(1)	75	74
	除草作業	3(6)	17(27)	2(6)	12(21)	1(0)	5(6)	76	75
	屋内・屋外清掃作業	2(3)	22(16)	2(1)	11(7)	0(2)	11(9)	74	76
	その他	3(6)	26(32)	1(2)	16(21)	2(4)	10(11)	70	74
	計	19(21)	106(118)	16(15)	80(91)	3(6)	26(27)	74	75
就業途上	徒歩	5(1)	10(16)	2(0)	4(5)	3(1)	6(11)	76	77
	自転車	4(7)	22(28)	2(1)	9(9)	2(6)	13(19)	78	76
	バイク	1(0)	6(12)	0(0)	1(4)	1(0)	5(8)	70	73
	自動車	1(2)	2(6)	1(0)	1(2)	0(2)	1(4)	71	74
	計	11(10)	40(62)	5(1)	15(20)	6(9)	25(42)	76	76
合計		30(31)	146(180)	21(16)	95(111)	9(15)	51(69)	75	75

()は平成30年度同月、累計では同月までの発生件数

- ・「男性会員の6ヶ月以上(180日)の入院報告」が1件あったので、重篤事故(10月報告分)として計上し、その分を「自動車」(就業途上)の累計件数から差引いた。

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います。

(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故（休業1ヶ月以上）

8月は、仕事の型別では「小売店販売員」、「調理人」、「飲食物給仕係」、「自動車組立設備制御・監視員」、「ビル・建物清掃員」、「産業廃棄物収集作業員」、「その他清掃の職業」、「軽作業員」がそれぞれ1件あり、合計8件となっています。男女別の内訳は男性が3件、女性が5件となっています。

8月までの累計は47件となり、男女別の内訳は、男性が26件、女性が21件となっています。なお、死亡事故はありませんでした。

平成元年度8月分

	仕事の型（小分類）	小分類 コード	事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
			8月	累計	8月	累計	8月	累計	8月	累計
業務災害	保育士	163	0	1	0	0	0	1	-	65
	受付・案内事務員	254	0	1	0	1	0	0	-	71
	小売店販売員	323	1	2	0	0	1	2	71	74
	その他の家庭生活支援の職業	359	0	1	0	1	0	0	-	73
	調理人	391	1	4	0	0	1	4	71	70
	飲食物給仕係	403	1	4	0	0	1	4	-	74
	その他の居住施設・ビル等の管理の職業	419	0	1	0	1	0	0	-	72
	自動車組立設備制御・監視員	513	1	1	1	1	0	0	65	65
	弁当・惣菜類製造工	554	0	1	0	1	0	0	-	67
	木製品製材工	561	0	1	0	1	0	0	-	72
	バス運転手	661	0	2	0	2	0	0	-	70
	内装工	717	0	1	0	1	0	0	-	78
	配達員	755	0	1	0	1	0	0	-	68
	荷造作業員	756	0	1	0	1	0	0	-	67
	ビル・建物清掃員	761	1	2	0	0	1	2	70	73
	ごみ収集・し尿汲取作業員	764	0	1	0	1	0	0	-	70
	産業廃棄物収集作業員	765	1	2	1	2	0	0	69	74
	その他の清掃の職業	769	1	2	0	1	1	1	72	72
	製品包装作業員	771	0	2	0	1	0	1	-	72
	選別作業員	781	0	5	0	3	0	2	-	72
軽作業員	782	1	7	1	3	0	4	67	70	
他に分類されない運搬・清掃・包装等の職業	789	0	4	0	4	0	0	-	71	
計	-	8	47	3	26	5	21	70	71	

※ 通勤災害の事故については、上期分を令和元年12月号、1年間分を令和2年6月号で報告いたします。

「シルバー派遣事業における労働者死傷病報告等に基づく労働災害報告」については、(1)「派遣・業務災害報告」については、各月翌月最終稼働日までに、(2)「派遣・通勤災害報告」については、令和元年9月30日までの期間での発生分を令和元年10月31日までに必ず提出願います。(平成31年4月22日付 事務局長通達により通知済)

秋という季節はなくなってしまったかのように、夏から一気に冬が訪れた感じのこの時期、二年連続で風邪を引いていましたが、日頃の不摂生にもかかわらず、今年はまだ大丈夫。お医者さん曰く、風邪の薬というのは症状を緩和するだけで治すものではない。とにかく十分栄養をとって、早く眠ることが一番とのこと。昔から風邪は万病の元と言います。まだ大丈夫とは言え、もう若くないという自覚をもって、かかった時には重症化しないよう早めに対処するようにしたいと思います。秋から冬へ向かい、日差しの暖かさを実感するこの季節、会員のみなさまは、常に健康第一で、風邪などお引きになりませぬように。(松山)

だんだんと肌寒さを感じる季節となってまいりました。厚生労働省の発表によると、今年度は第45週(11月4日～10日)でインフルエンザの流行シーズン入り、例年(12月～3月)より早い時期での流行シーズン入りとなりました。インフルエンザはいったん流行すると短期間に多くの方が感染します。また、インフルエンザが疑われる症状が出たら、すぐに医者に診断を受けるなど早めに適切な措置をとることが重要です。ワクチンの予防接種や外出後のうがい、流水・石鹸による手洗い等、インフルエンザにかからぬよう対策に取り組みましょう。(笹野)

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

<頒布物のご案内> 新規会員さんへの研修に活用ください!

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

事故に学ぶ交通安全のポイント「改訂版」

交通事故の死亡者は年々減少傾向にある中、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。シルバー人材センター会員の皆様においても就業途上において歩行中・自転車乗車中の事故が多く発生しています。このため、事故に注意していただき、安全な就業をしていただくため改訂版を発行しました。是非、会員の皆様に対する研修会・講習会等のテキストとして活用ください。



頒布価格 200 円 A4 判
(税抜・送料実費)

【改訂の内容】

- 1 現行のB5版/16頁からA4版/20頁とし、見やすく、分かりやすく、内容の充実を図りました。
- 2 警察庁交通局の「平成27年中の交通事故の発生状況」から、特に、高齢者の事故が多い内容や原因について注意喚起を行う事項を追加しました。
- 3 シルバー人材センターで発生した「就業途上に起きた交通事故」の状況や事故件数及びこれに伴う再発防止のポイントを「イラスト、事例」により掲載しました。
また、ヒヤリ・ハットの事例についても、「イラスト、事例」により掲載しています。
- 4 自転車の危険運転について、道路交通法の改正が行われ、この改正内容等について、「イラスト」等により解説を行い、追加しました。

【お問い合わせ先 全シ協企画情報課 TEL 03-5665-8013】